

ニュージーランド 2022/23年度はキウイ生産者に厳しい結果

RURAL NEWS 2023年6月6日

ゼスプリの最近の決算によると2022/23年度の果実販売による世界的な収益は前年比3%減少

驚くに値しないが、ゼスプリが最近発表した最終的な数値は、キウイフルーツ部門にとって悪い年であったことを示している。2022/23年度の世界での果実販売による総収益は39億2千万NZドルであり、前年度の記録的な数値から3%減少した。世界の販売量も2億150万箱から1億8,350万箱に減少した。(1NZドル=約85円)

ゼスプリによると、2022/23年度に品質問題によって失われたキウイフルーツの価値は5億3,400万NZドルで、前年度の3億700万NZドルから大幅に増加した。それに加えて、コストの増加により生産者の収益も減少し、ゼスプリグリーンキウイの一箱当たりの収益は、前年の6.35NZドルと比べて2022/23年度は5.78NZドルとなり、一方サンゴールドキウイの収益は前年度の11.51NZドルから9.97NZドルに減少した。

ゼスプリのダン・マシソン代表は、この結果は、多くの第一次産業にとって非常に困難な時期であったことを示しており、生産者は労働力不足、コロナ禍の継続的な影響、気象災害及びコストの上昇に関連する課題に直面していると述べている。(以下「」は同氏の発言)

「これまでで最も厳しいシーズンの1つであり、業界は、大幅な労働力不足等の多くの課題に直面したにもかかわらず、果実を市場に届けるために信じられないほど懸命に働いた。」

マシソン氏は、この結果は、品質を改善するための業界の取り組みの重要性を示しており、それは将来より多くの収益をもたらすための重要な推進力であると述べている。

同氏は、2023/24年度も果実の量が少なくなるという事実を踏まえると、これは生産者、特にグリーンキウイの生産者にとって困難な時期であると言う。

「状況は依然として厳しいが、2023/24年度の最初の出荷分は取引先から好評を得ている。このことは、業界の品質行動計画の取組みが品質管理コストを削減し、品質の低い果実を輸出しないようにする上で役立っていることを示している。」

執筆者: ピーター・バーク

米国 セントラルバレーで核果類の収穫が本格化

FreshPlaza 2023年6月7日

カリフォルニア州のセントラルバレーでは、現在、核果類の収穫が本格化している。しかし、パリエ市近くの農場でモモやネクタリンの収穫を行う労働者は、はしごを上り下りする代わりに、果樹の間を移動するプラットフォーム(移動台車)に安全ロープで繋がれている。HMC農場は、ここ数年、収穫時に何台かのプラットフォームを使用してきた。監督者のジョン・マクラティ氏は、労働者の安全と日よけに役立つと言う。

全体的に見て、収穫作業員は果実が成熟するまでに数週間余計に待たなければならなかった。同氏は、「今年は収穫が遅く、おそらくここ数十年で最も遅い。冬に雨が多く寒かったためだ」と述べた。

HMC農場は、100品種以上の核果類とブドウを栽培している。ネクタリンは有機栽培で、全米の店舗に出荷される。同氏は、雨天は収穫を遅らせたかもしれないが、果樹の状態は非常に良いようだと言う。

同氏は、「果実の品質は本当に良い。食味は素晴らしく、おそらくこの15年間で最高だ」と述べた。同氏はまた、収穫用プラットフォームは、日陰で働くというアイデアを好むより多くの労働者を引き付けるのに役立つと考えている。

出典: abc30.com (原典にはプラットフォームを使った収穫風景の動画があります。)